

2023年11月26日

「沈黙しているだけでも」

私たちが受ける苦難は、言い方を誤ったために生じるものが大部分です。沈黙しているだけでも、人生の半分は楽に生きることができます。ところが、言わなくてもいいことやでたらめ、小言などをついつい口にしてしまい、相手の怒りを引き起こしてしまいます。

知恵のある人は、言葉に気をつけます。舌をコントロールします。キラキラ光る知恵ときれいな心でいつも他の人を喜ばせ、安らぎを与えます。

特に沈黙すべきなのは、愚痴が出そうなときです。「愚痴」とは何の代案もなく吐き出す批判のことです。ビジョンを示さずに批判ばかりするなら、たとえそれが正しかったとしても、愚痴にすぎません。

時には批判も一理あります。すべての批判が間違っているわけではありません。しかし、批判や愚痴は相手を傷つけ、良いことも台無しにしてしまいます。

批判や愚痴の問題を解決する方法があります。それは、沈黙して自分の利益を明け渡すことです。批判や愚痴が出てきそうなとき、自分自身に打ち勝ち、それを口に出さないことは偉大です。

ことばに失敗が多いのは、その人のうちに神様のことばがないからです。み言葉から離れた人はサタンの考えを「良い考え」と錯覚するようになります。サタンは、私たちの劣等感や被害妄想を刺激し、間違った考えを真理のように思わせます。サタンが植え付けた言葉を口に出すべきではありません。沈黙して唇と舌を守りましょう。そして、神様が吹き込んでくださった知恵のことばだけを語るといふ決意をしましょう。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ 「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、
恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

本日の礼拝メッセージ 「聖霊を受けたのか」

聖書箇所 使徒の働き 19:1～

使徒 9:2 彼らに「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは「いいえ、聖霊がおられるのかどうか、聞いたことはありません」と答えた。

1. パウロとアポロ
 - ・アポロがコリントに行った後に、パウロがエペソに来た
 - ・パウロにあったが、アポロには無いものがあった。
→神に個人的に語りかけられたという体験は、知識的な信仰をより確信ある体験の伴う信仰へと高めてくれる
2. 「あなたは聖霊を受けましたか」
 - ・三つのバプテスマについて
 - ヨハネのバプテスマ
 - イエス・キリストの名によるバプテスマ
 - 聖霊のバプテスマ
 - ・すべての信者のうちに聖霊（御霊）は住まわれている
 - ・「聖霊のバプテスマ」を通して、信者はより主イエス様を個人的に親しく知る者とされ、さらに主の奉仕の働きのために力を与えて備えられる

【報告】

※本日の礼拝には「ギデオン協会」三重支部メンバーが来会されています。「ギデオン協会」の活動について奨励があります。
※本日の午後、クリスマスの飾りつけと会堂の美化清掃奉仕会をいたします。
※本日、輝子伝道師は津島福音教会で礼拝メッセージ奉仕をします。
※今週 30 日の木曜日には、いのちのことば社による「キリスト教書籍の出張販売」のために巡回販売車が来ます。販売時間は午前 10 時半から 11 時半までの予定です。
※来週日曜日礼拝会で、聖餐式を行います。

イスラエルの平和のために祈りましょう!!

10 月 7 日のハマスの大規模なテロ攻撃によって始まったガザ戦争は、イスラエル軍によるガザ攻撃の状況などを通して、世界的に反ユダヤ主義の風潮を広げるとい状況が生じています。テレビニュースでは真実を曲げイスラエルを一方的に悪とする報道が盛んに繰り返されています。ニュース番組では多くのコメンテーターがパレスチナ側に立った情緒的なコメントを語り、それが一層イスラエルに対する批判を巻き起こしています。

このような状況を前に私たちクリスチャンが現状を正しく理解するための助けとなる解説が月刊ハーベストタイム 12 月号やオリブ・ライフ誌に掲載されています。

イスラエルとパレスチナの対立について、聖書に基づく説明と共に、その歴史的経過などがわかりやすく解説されています。ぜひお読みになって、正しい理解のもとにイスラエルの平和と守りのためにお祈りしていきましょう。